

## 第5 公営企業の業務の状況

### 1 電気事業

#### (1)平成22年度予算及び経営状況

10発電所における年間総販売電力量を1億8,200万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益15億7,087万5千円、電気事業費用14億2,527万6千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入10億92万9千円、資本的支出19億2,150万3千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携等を図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努力します。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成22年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	増 減 (A) - (B)
年間総販売電力量	182,459 MWH	182,459 MWH	0 MWH

第12表 平成22年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成22年度 当初予算額(A)	平成21年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
電気事業収益	1,570,875	1,576,124	5,249	99.7
営業収益	1,564,691	1,568,312	3,621	99.8
財務収益	4,263	7,535	3,272	56.6
事業外収益	1,918	274	1,644	700.0
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,425,276	1,450,930	25,654	98.2
営業費用	1,289,821	1,305,628	15,807	98.8
財務費用	81,992	93,105	11,113	88.1
事業外費用	50,460	49,194	1,266	102.6
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	1,000,929	2,014	998,915	49,698.6
資本剰余金	926	1,154	228	80.2
固定資産収入	1,000,001	1	1,000,000	100,000,100.0
雑収入	2	859	857	0.2
資本的支出				
資本的支出	1,921,503	1,369,983	551,520	140.3
建設費	7,858	9,058	1,200	86.8
改良費	72,732	122,037	49,305	59.6
投資	1	1	0	100.0
償還金	237,812	235,787	2,025	100.9
長期貸付金	1,600,000	1,000,000	600,000	160.0
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額9億2,057万4千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします

## (2)平成21年度下半期の業務の概要

平成21年度は、降雨量が県下主要ダム地点で平年の113.1%となったものの、月ごとの降雨量の変動が大きかったため、平成21年度の販売電力量は目標に対して80.7%、電力料金収入は目標に対して96.3%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、下半期における予算の補正では、電力料金収入の減等により、収益的収入予算においては、全体で5,928万8千円の減額補正を、収益的支出予算においては、人件費の減等により210万3千円の減額補正を行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億1,683万6千円、収益的支出において14億4,882万7千円、資本的収入において5億4,486万3千円、資本的支出において13億6,103万円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

(平成22年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成21年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,646,000	235,787	2,447,040	2,198,960
錦川水系発電所	1,715,000	85,473	703,288	1,011,712
佐波川発電所	299,000	15,198	106,847	192,153
木屋川発電所	646,000	32,171	428,215	217,785
新阿武川発電所	248,000	11,668	92,185	155,815
生見川発電所	455,000	31,209	363,304	91,696
本郷川発電所	106,000	7,162	82,321	23,679
末武川発電所	857,000	37,992	465,575	391,425
小瀬川発電所	320,000	14,914	205,305	114,695
一 時 借 入 金	-	-	-	0

## 2 工業用水道事業

### (1)平成22年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,200余万 $m^3$ と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益73億2,090万円、工業用水道事業費用60億9,128万3千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入21億3,994万7千円、資本的支出49億3,074万1千円を計上し、企業債償還金28億6,803万2千円のほか、工業用水の安定供給のため、改良事業として厚東川改築事業などを引き続き実施します。

なお、工業用水の安定した供給に努めるとともに、引き続き、需要の開拓をはじめ、諸施策に取り組み、工業用水道事業会計の経営基盤強化に努力します。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成22年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	増 減 (A) - (B)
年 間 総 給 水 量	581,817,300 $m^3$	581,386,600 $m^3$	430,700 $m^3$

第15表 平成22年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成22年度 当初予算額(A)	平成21年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
工業用水道事業収益	7,320,900	8,101,979	781,079	90.4
営業収益	7,311,122	8,071,841	760,719	90.6
営業外収益	9,773	30,133	20,360	32.4
事業外収益	2	2	0	100.0
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
工業用水道事業費用	6,091,283	6,206,099	114,816	98.1
営業費用	5,141,526	5,117,315	24,211	100.5
営業外費用	939,481	1,078,508	139,027	87.1
事業外費用	174	174	0	100.0
特別損失	102	102	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	2,139,947	2,724,584	584,637	78.5
企業債	1,144,000	1,494,000	350,000	76.6
長期借入金	361,361	556,606	195,245	64.9
資本剰余金	559,184	519,860	39,324	107.6
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	75,401	154,117	78,716	48.9
資本的支出				
資本的支出	4,930,741	5,581,184	650,443	88.3
建設費	208,300	258,300	50,000	80.6
改良費	1,844,408	2,167,096	322,688	85.1
投資	1	1	0	100.0
償還金	2,868,032	3,135,795	267,763	91.5
補助金返還金	0	9,992	9,992	皆減
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額27億9,079万4千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします

## (2)平成21年度下半期の業務の概要

平成21年度は、降雨量が県下主要ダム地点で平年の113.1%となったものの、月ごとの降雨量の変動が大きかったため、1年を通じての実給水量は、契約水量に対し、70.4%(昨年度70.3%)となりました。

なお、平成21年度下半期も工業用水の安定供給のため、改良事業として厚東川改築事業などを実施しました。

また、平成20年度に引き続き、需要の開拓、料金の適正化等の経営基盤強化に取り組みました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算においては、営業外収益の増加等により1,773万7千円の増額補正を、収益的支出予算において、営業費用の減少等により8億8,794万5千円の減額補正をしました。また、資本的収入予算においては、企業債の減等により1億5,150万1千円の減額補正を、資本的支出予算においては、長期借入金償還金の増等により8億1,409万円の増額補正をしました。

この結果、最終予算は、収益的収入において81億1,971万6千円、収益的支出において61億1,815万4千円、資本的収入において25億7,308万3千円、資本的支出において63億9,527万4千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発行総額	償 還 額		平成21年度末 現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	57,559,600	3,135,784	29,542,383	28,017,217
小瀬川工業用水道	2,658,000	111,059	1,073,011	1,584,989
向道・川上工業用水道	1,086,000	48,062	406,624	679,376
周南工業用水道	8,693,000	210,689	1,277,002	7,415,998
佐波川工業用水道	635,000	24,016	191,151	443,849
厚東川工業用水道	6,426,000	237,981	2,280,335	4,145,665
木屋川工業用水道	4,193,000	206,061	1,822,475	2,370,525
生見川工業用水道	1,959,000	160,481	1,484,347	474,653
富田夜市川工業用水道	1,721,000	73,601	717,785	1,003,215
厚東川第2期工業用水道	2,719,000	171,549	1,526,046	1,192,954
厚狭川工業用水道	5,736,000	410,994	3,875,411	1,860,589
木屋川第2期工業用水道	5,702,000	354,277	4,301,809	1,400,191
末武川工業用水道	3,952,000	233,064	2,832,702	1,119,298
佐波川第2期工業用水道	3,299,000	252,867	2,543,630	755,370
小瀬川第2期工業用水道	8,780,600	641,083	5,210,055	3,570,545
一 時 借 入 金	-	-	-	0

### 3 総合医療センター事業

#### (1)平成22年度予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数162,060人、外来患者延べ220,158人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益113億633万9千円、病院事業費用112億9,388万9千円で、前年度当初と比較して、収益で2億133万8千円の減少、費用で4,327万7千円の減少を見込んでいます。

また、資本的支出については、17億534万5千円を計上し、企業債償還金10億8,219万8千円のほか、病院施設を整備するため1億4,174万8千円、高度医療機器等を購入するため4億7,639万9千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 平成22年度総合医療センター事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	増 減 (A) - (B)
1 病 床 数	504床	504床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	162,060人	170,090人	8,030人
外 来	220,158人	211,508人	8,650人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	444人	466人	22人
外 来	906人	874人	32人
4 主 要 な 建 設 改 良 費			
病 院 施 設 整 備 事 業	141,748千円	95,928千円	45,820千円
医 療 機 械 器 具 及 び 備 品 購 入	476,399千円	405,000千円	71,399千円

第18表 平成22年度総合医療センター事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成22年度 当初予算額(A)	平成21年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
病院事業収益	11,306,339	11,507,677	201,338	98.3
医業収益	9,961,008	10,010,272	49,264	99.5
医業外収益	1,345,231	1,497,305	152,074	89.8
特別利益	100	100	0	100.0
収益的支出				
病院事業費用	11,293,889	11,337,166	43,277	99.6
医業費用	11,048,984	11,091,429	42,445	99.6
医業外費用	243,305	244,137	832	99.7
特別損失	600	600	0	100.0
予備費	1,000	1,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	1,034,273	927,803	106,470	111.5
企業債	581,000	495,000	86,000	117.4
負担金	413,080	391,757	21,323	105.4
寄付金	40,193	41,046	853	97.9
資本的支出				
資本的支出	1,705,345	1,651,508	53,837	103.3
建設改良費	618,147	500,928	117,219	123.4
企業債償還金	1,082,198	1,145,580	63,382	94.5
予備費	5,000	5,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億7,107万2千円は、内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします

## (2)平成21年度下半期の業務の概要

公共医療機関としての使命と公営企業としての経済性の調和を図りながら、県民への医療サービスの向上に努めてまいりました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、1億3,964万5千円の増額補正をしましたが、これは、外来収益の増加等によるものです。

また、収益的支出予算において、4億9,389万3千円の増額補正をしましたが、これは材料費の増加等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において116億4,732万2千円、収益的支出において116億3,869万1千円、資本的収入において9億3,955万3千円、資本的支出において16億8,509万1千円となりました。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(総合医療センター事業)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成21年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	7,981,000	1,145,580	2,790,144	5,190,856
一 時 借 入 金	-	-	-	0

## 4 こころの医療センター事業

### (1)平成22年度予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数63,510人、外来患者延べ28,072人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益17億1,242万7千円、病院事業費用18億2,684万3千円で、前年度当初と比較して、収益で6,408万3千円の増加、費用で3,773万2千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、6,924万7千円を計上し、企業債償還金6,035万2千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第20表 平成22年度こころの医療センター事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	増 減 (A) - (B)
1 病 床 数	180床	180床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	63,510人	63,145人	365人
外 来	28,072人	23,765人	4,307人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	174人	173人	1人
外 来	116人	97人	19人
4 主 要 な 建 設 改 良 費			
病 院 施 設 整 備 事 業	0千円	0千円	0千円
医 療 機 械 器 具 及 び 備 品 購 入	8,895千円	0千円	8,895千円

第21表 平成22年度こころの医療センター事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成22年度 当初予算額(A)	平成21年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収 益 的 収 入				
病 院 事 業 収 益	1,712,427	1,648,344	64,083	103.9
医 業 収 益	1,310,943	1,309,177	1,766	100.1
医 業 外 収 益	401,484	339,167	62,317	118.4
特 別 利 益	0	0	0	-
収 益 的 支 出				
病 院 事 業 費 用	1,826,843	1,789,111	37,732	102.1
医 業 費 用	1,739,809	1,695,737	44,072	102.6
医 業 外 費 用	86,434	92,774	6,340	93.2
特 別 損 失	100	100	0	100.0
予 備 費	500	500	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	39,699	15,761	23,938	251.9
企 業 債 金	8,000	0	8,000	皆増
負 担 金	31,699	15,761	15,938	201.1
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	69,247	28,385	40,862	244.0
建 設 改 良 費	8,895	0	8,895	皆増
企 業 債 償 還 金	60,352	28,385	31,967	212.6

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,954万8千円は、内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金)で補てんします。

## (2)平成21年度下半期の業務の概要

公営企業として能率的かつ合理的な経営に努めるとともに、県下唯一の公立精神科病院として先駆的で良質な医療により精神障害者の治療と保護を推進し、県民の精神的健康の維持向上に努めてきました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、5,694万円の減額補正をしていますが、これは、院外処方開始による薬価収入の減等によるものです。

また、収益的支出予算において、4,446万5千円の減額補正をしましたが、これは給与費及び材料費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億9,140万4千円、収益的支出において17億432万2千円、資本的収入において1,576万1千円、資本的支出において2,838万5千円となりました。

第22表 企業債及び一時借入金の状況(こころの医療センター事業)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成21年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,711,000	28,385	212,785	4,498,215
一 時 借 入 金	4,000	4,000	4,000	0